



平成 18 年 6 月 23 日

各位

会 社 名 近畿コカ・コーラボトリング株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 守都 正和
 コード番号 2576 東証・大証 市場各第一部
 問い合わせ先 常務執行役員 広報部長 郷 礼次
 (TEL:06-6330-2191)

中間期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 2 月 7 日の決算発表時に公表しました当年度中間期(平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 18 年 12 月期 連結中間期業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	87,000	2,500	2,500	1,400
今回修正予想(B)	82,500	800	700	△800
増減額(B-A)	△4,500	△1,700	△1,800	△2,200
増減率(%)	△5.1	△68.0	△72.0	—
前期(平成17年中間期)実績	86,169	2,506	2,431	1,365

2. 平成 18 年 12 月期 個別中間期業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	77,300	1,200	1,500	800
今回修正予想(B)	73,400	0	200	△300
増減額(B-A)	△3,900	△1,200	△1,300	△1,100
増減率(%)	△5.0	—	△86.6	—
前期(平成17年中間期)実績	75,080	1,011	1,417	630

3. 修正の理由

(1) 連結

売上高、営業利益および経常利益につきましては、主として個別の業績修正の影響により修正するものであります。

また、当社の子会社である近畿コカ・コーラプロダクツ株式会社(以下、KCP社)が三笠コカ・コーラボトリング株式会社(以下、三笠社)より委託を受け、コカ・コーラ社商品の製造を行っております三笠社の

滋賀工場で製造した一部製品の中に、鉄の微粉末が微量に混入したため、去る5月に製品を自主回収いたしました。その製品回収に伴う費用の見込み額1,500百万円をKCP社において特別損失として計上する他、経営統合に伴う費用400百万円を特別損失として計上しました結果、当期損失が800百万円となる予定です。なお、製品回収費用につきましては現在精査中ではありますが、現段階で入手し得る情報を基に見込まれる最大額を計上しております。

(2) 個別

天候に恵まれなかったこと等による影響により、売上高は計画に対して未達となる見込みです。売上高の未達に伴う利益の減少を経費削減で補うよう努めましたが、営業利益、経常利益とも前回発表予想を下回る見込みであります。

また、コカ・コーラウエストジャパン株式会社(以下、CCWJ社)との経営統合に伴う費用400百万円を特別損失として計上した結果、当期損失は300百万円となる見込みです。

なお、当社とCCWJ社は、7月1日に共同持株会社「コカ・コーラウエストホールディングス株式会社」発足により経営統合することで合意しております。これに伴い、当社は6月27日をもって上場廃止を予定しております。

以 上